
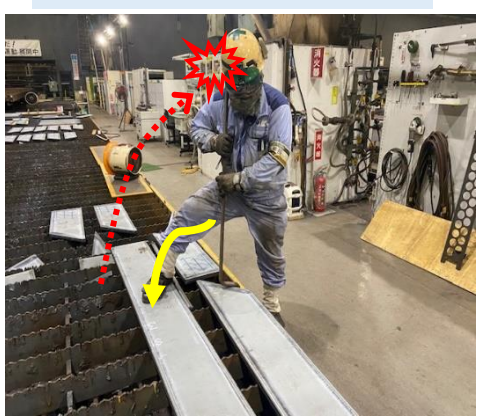


災害事例報告（不休）

登録番号	20-010	登録日：2021年2月17日				
会社名	(支部)	発生日時	2020年 11月21日	17時10分頃		
発生場所	P P ガス切場					
被災者	氏名	A 氏	年齢	34歳	役職	一般
	直外区分	直営	勤務経験	12年11ヶ月	作業経験	1年10ヶ月
傷病名	右耳切創			休業日数	0日	
災害の概要	鋼板端部のノッチ疵を溶接手直し作業終了後、製品を倒すため治具を操作したところ治具が被災者の右耳に当り受傷した。			災害類型	⑥	

災害 状況	8時15分 グループミーティングと始業前KYを実施。
	8時25分 F Pグループ作業開始。
	12時00分 食休
	13時00分 F Pグループ作業継続
	16時25分 製品にノッチ疵が入った為、治具（テコ棒）で製品を起こし、ノッチ疵の溶接手直しとグラインダー作業を開始。
	17時10分 溶接手直しグラインダー作業が終わり、テコ棒を使い製品を倒す際に、製品の重さ（25×260×2922 143kg）によりテコ棒に反動が加わり支えきれずに右耳部に接触し受傷した。
	17時15分 社有車にて、病院に搬送。
	17時50分 病院で右耳の傷口を13針縫合し、C T検査結果、頭部異常なし。痛み止め処方。
19時00分 本人帰社。被害状況まで確認。	

発生 状況 図 ・ 写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>製品を起こした状態（ノッチ疵手入れ）</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: green;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>製品を倒す状態（受傷）</p>  </div> </div>
	<p>製品の重さ(製品 25X260X2922 143kg)</p> <p>※通常はテコ棒の動く軌道に入らない位置で作業するが、テコ棒を通常と反対側の位置に掛けていた為、テコ棒の戻ってくる軌道が作業者の立っている方向になった。</p>

原因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常、重量のある製品は手直し端面が横向き（水平）の状態の手入れ作業（定常作業）をする が、溶接の容易さから軽量製品（手で持てる程度）と同様に治具を使い製品を立てて作業をした。 ・ 他の作業でホイストクレーンを使用していたため、クレーンを使わずに当該治具を使用した。 ・ 終業間際で、安全最優先の行動より、作業の効率を優先した。
----	--

対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人への作業前（行動前のひと呼吸徹底）の再教育。 ・ 定常作業と非定常作業の周知（事前KY：KYシート報告）。 ・ 全員に安全最優先の再周知。 ・ 当該治具の災害発生作業場からの撤去。 ・ 類検査を行い、類似作業の洗い出し、標準化。
----	--

【災害類型】 ①墜落・転落 ②転倒 ③飛来・落下 ④挟まれ ⑤巻き込まれ
⑥切れ・擦れ ⑦熱傷 ⑧感電 ⑨火災・爆発 ⑩その他

注) 網掛け部の記入は任意とする。それ以外は必ず記入をお願いします。